

天才アート KYOTO®



天才アートとは、障
碍のある人やひきこも
りの人などの多くがも
っている優れた感性と表

現力、そこから湧き出る独創的なアート
作品に対して、NPO 法人 障害者芸術
推進研究機構（天才アート KYOTO）
が独自にネーミングしたものです。当
機構は天才アートを推進し、その啓発・
普及活動を積極的に行っています。



発行日 2026年6月18日（木）

発行者 特定非営利活動法人
障害者芸術推進研究機構

天才アート KYOTO

発行所 〒603-8226

京都市北区紫野西舟岡町2番地

ふれあい共生館「きたアトリエ」

info@tensai-art.kyoto

http://tensai-art.kyoto

編集協力 株式会社 三六六

天才アート

検索



ライト Light 『朝日』 キャンバス・アクリル絵の具・色鉛筆・画用紙、2025 年制作

展 覧 会

予 告

第4回日本国際芸術祭
天才アート展 in 利生堂（高台寺）
を開催予定

大阪・関西万博を契機として2023年にスタートした日本国際芸術祭。その第4回が本年秋に始まり、当機構では鷺峰山高台寺「利生堂」を会場に「天才アート展 in 利生堂」を開催します。昨年は第3回として万博会場で天才アートEXPO展を開催し、好評を博しました。

利生堂を会場に作品を展示するのは第2回に続き2度目で、堂内の大涅槃図と親和するアート空間に仕上げる予定です。高台寺には、市民はもちろん国内外から多くの観光客が訪れるため、海外の皆さまにも天才アートKYOTOの活動を知っていただくチャンスです。どうぞご期待ください。



前回開催の「想像力あふれるダイバーシティアート展」の会場

展 覧 会

報 告

第13回
「天才アート展2025」開催
45人の作家による「表現の現在地」が堀川御池ギャラリーに集結

本年1月22日（木）から2月3日（火）まで、堀川御池ギャラリーにて「天才アート展2025」を開催しました。会場には45人の登録作家による絵画、立体、デジタル作品など百数十点が並び、1年間の創作活動の集大成となりました。

来場者は、ギャラリーB・C室と通路空間に展示された作品を巡りながら、一人ひとり異なる表現世界に触れる時間を楽しみました。寒波の影響もありましたが、約

会期 26年9月21日（月祝）～9月30日（水）
時間 9時30分～16時30分（予定）
会場 鷺峰山高台寺「利生堂」（京都市東山区高台寺下河原町526）
※入場無料
主催 （一社）夢洲新産業・都市創造機構
特別協力 鷺峰山高台寺
企画主宰 NPO法人障害者芸術推進研究機構

700人が会期中に来場。初日にはKB S京都の取材も行われ、ニュース番組で紹介いただきました。



ギャラリーCで作品を鑑賞する人たち



ギャラリートークで作品の説明を聞く参加者の皆さん

よるギャラリートークを開催。一般・関係者ら約15人が参加し、作品に込められた視点や制作背景について耳を傾けました。参加者からは「作品の見方が変わった」「作家本人と自然に会話できたことが印象的だった」といった声も聞かれ、会場には穏やかな交流の時間が生まれていました。

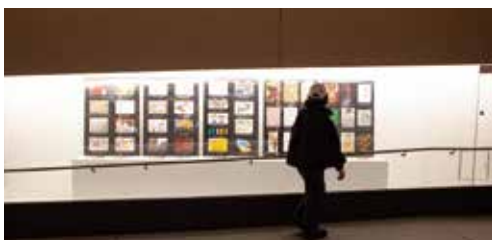
また、万博関連事業などご縁のあった方々や教育関係者も来場され、天才アートKYOTOの活動の広がりを実感する展覧会にもなりました。多彩な作品群が並ぶ空間は、単なる「展示にとどまらず、人と人と作品が出会う場として、大きな役割を果たしていたように思います。改めて「表現すること」の豊かさ、その作品を社会へ届けていく意義を感じる機会となりました。来場いただいた皆さま、ご協力いただいた関係者の皆さまに、心より感謝申し上げます。

市役所本庁舎地下連絡通路に展示

昨年に引き続き、26年1月5日（月）～30日（金）の26日間、京都市役所本庁舎地下連絡通路内の展示スペース約32メートル内に当機構の紹介などの展示を行いました。

同時期に四条通り地下道で開催中の『公共空間にアートの彩り！』展と合わせ、また天才アート展2025の開催告知も兼ねて紹介しました。

ゼスト御池や市役所を訪れる市民の皆さんも関心を持って見ておられました。



京都市役所本庁舎地下連絡通路の展示

第9回「公共空間にアートの彩り」展 終了

今年で第9回を迎えた「公共空間にアートの彩り」展。同展は、京都市や阪急電鉄などの連携と京都オムロン地域協力金の助成により、無機質な壁面で、殺風景になりがちな地下道などの公共空間に、当機構作品データで作成したB1サイズのポスターパネルを展示し、「アートの彩り」で明るく活力のある空間を創り出す取り組みです。今回は、50枚のポスターパネルと挨拶パネル2枚の合計52枚のパネルを展示しました。

展示作業中に、「毎年楽しみにしています」とご高齢の女性から励ましのお言葉をいただいたのはじめ、多くの市民や観光客の皆さんは、地下道を歩きながら作品をながめたり、立ち止まって作品の感想を話したりと、楽しそうにご覧いただきました。



ポスターパネルをながめながら地下道を通行される歩行者

会期 '25年11月15日(土)〜'26年1月16日(金)
会場 四条通地下道(下京区麩屋町通付近)
〔富小路通付近の間〕

主催 NPO法人障害者芸術推進研究機構
協力 京都市歩くまち京都推進室・
阪急電鉄(株)

助成 (公財) 京都オムロン地域協力基金

退任理事からのご挨拶

理事 多田 薫
た だ かおる



この6月末日を以て非常勤理事を退任することとなりました。大変短い期間ではありましたが、皆さまからいただきましたお心遣いに感謝申し上げます。

振り返りますと、就任早々に大阪・関西万博会場での天才アートEXPO展に会場スタッフとして関わる機会を得ました。さまざまな国や地域の方々に作家さんの作品をご覧いただきました。驚嘆と賞賛の声の数々、作家さんと来場者さん、来場者さん同士の作品談義等は万博ならではの光景でした。天才アートKYOTOの作家さんの作品が持つ『人と人をつなぐ力』を強く感じました。

日常的に作品が生まれていくプロセスにふれる経験に恵まれたことにも感謝しております。無から有だけではなく、綿々と続く作家さんの明確な強い意思に気づくこと

もありました。そして、作家さんの手を離れて会場に展示された作品の雄弁さにも驚きました。今までにない感覚、知らない世界を教えていただきました。

今後もこのご縁を大切に天才アートKYOTOの一ファンとして楽しみたいと思います。最後になりましたが、作家さんやご家族の皆さまのご健康とお幸せをお祈りいたします。

新任理事からのご挨拶

理事 浜口 雄二
はまぐち ゆうじ



昨年の夏、暑さが募る日でした。私は大阪万博会場にて天才アートの展示を鑑賞していたのです。いよいよ

よ世界に羽ばたく天才アート!だと感動しました。前任の多田理事に案内いただいたのですが、私にとつての万博といえば70年万博の岡本太郎「太陽の塔」、そう「芸術は爆発だ?」でした。アートってすごいですね、天才であつたり爆発であつたり、時代や環境とともにあるのだな、いつもそう受け止めています。このたび、理事としてお招きいただきました浜口雄二です。40年余り、支援学校にかかわつてたくさんの子どもたち、保護者の皆さんとともに伴走してきた私です。これを機会に、もつともつとアートを探っていければと。なにとぞよろしく願ひいたします。

革新の分岐点
muratec

これまでの技術でつくるか、
これからの技術をつくるか。

村田機械株式会社

本社/京都市伏見区竹田向代町136
<https://www.muratec.jp>

ロジスティクスシステム
 繊維機械
 ファクトリーオートメーション
 工作機械
 シートメタル加工機
 半導体工場FAシステム
 デジタル複合機/情報機器
 生産管理システム

道家 大偉之 Taishi Doke 2000年生

道家は、自身が訪れた場所で見つけた物や風景の写真を参考にして描きます。モチーフは自宅近辺に咲いていた花であったり、通りがかりに見つけた置物だったり、日常生活の中で彼が面白いと感じた物が主です。道家の制作は、ひとつのモチーフ時間をかけて観察し、肉厚なタッチで慎重に描かれます。鑑賞者は細部まで描かれた道家作品を観たとき、彼の見ていた物とその感受性を追体験できるかもしれません。

TENSAI

ART

NOTE

天
オ
ア
ー
ト
ノ
ー
ト



『夏の軒先』 画用紙・アクリル絵の具、H545×W392mm、2025年制作

道家 大偉之



『店先のかざり置き物狸!!』 画用紙・アクリル絵の具・鉛筆、H380×W530mm、2023年制作



『エキナセア』 画用紙・ペン・アクリル絵の具、H380×W540mm、2025年制作



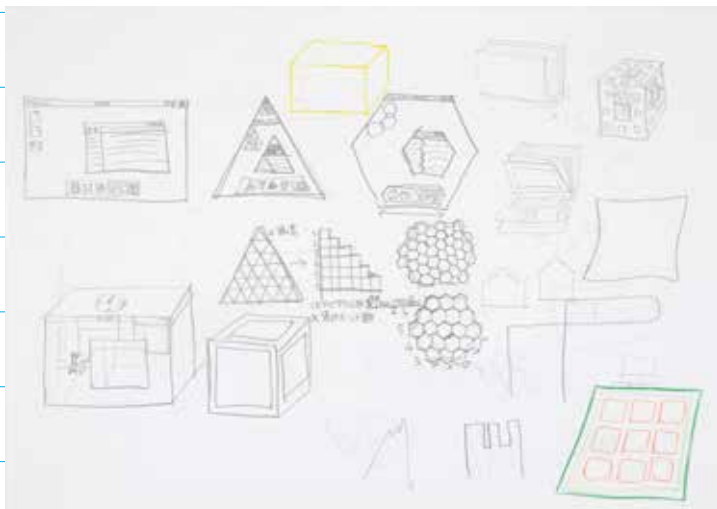
『ペンタスとトレニア』 画用紙・ペン・アクリル絵の具、H540×W380mm、2025年制作



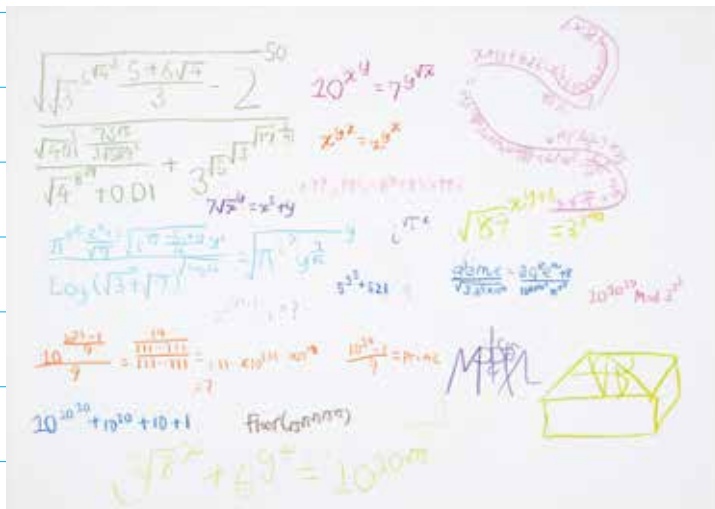
佐野 彰洋

佐野 彰洋 Akihiro Sano 2003年生
色鉛筆でドローイング作品を生み出す佐野の制作方法は、たびたび電卓でキーをたたきながら色鉛筆で描くという、非常に特殊なプロセスを経て出来上がります。その制作風景を見ていると、まるで複雑な数式を計算して解き続けているようにも見えます。そこから計算で導かれた難解な数式や複雑な幾何学的形状、あるいは思考の産物とも判別がつかないドローイングが描かれます。かつてガリレオ・ガリレイは、「宇宙という書物は数学の言葉で書かれている」と言ったように、観客が佐野の作品を前にした時、世界の不思議を解き明かす「鍵」を手にした感覚になるのかもしれませんが。

『無題』 画用紙・色鉛筆、H270×381mm、2025年制作



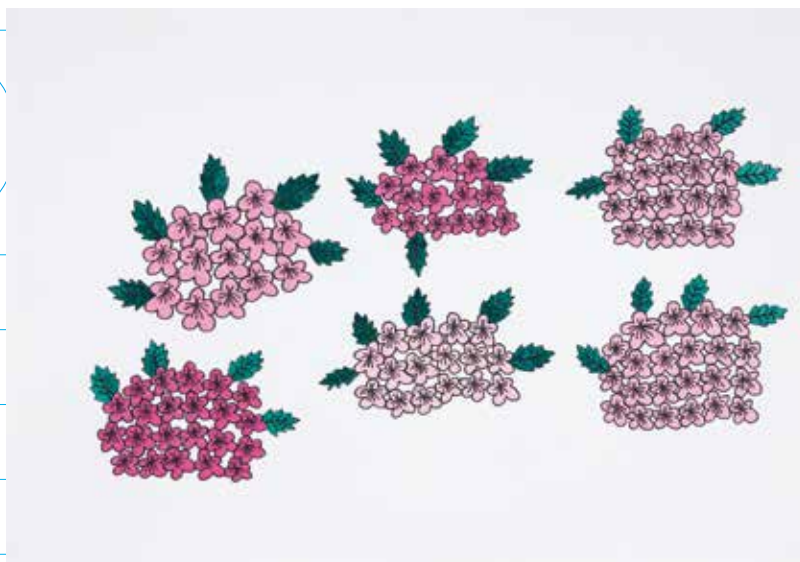
『無題』 画用紙・鉛筆・色鉛筆、H297×W419mm、2024年制作



『無題』 画用紙・色鉛筆、H298×W420mm、2024年制作

服部 可菜恵

服部 可菜恵 Kanae IHattori 1994年生
服部は花や植物を油性ペンと鮮やかな色彩のアクリル絵の具を用いて描いています。作者独特のシンプルな形状へとデフォルメされつつも、どの植物も愛らしく生き生きとしており、どこか「人」のようにも見え、とりわけ「アンスリウム」は一本一本の花が互いに会話をしているかのようにも見えます。どの服部作品も植物に対する彼女の優しいまなざしを感じることができます。



『シモツケ』 ケント紙・ペン・アクリル絵の具、H380×W540mm、2025年制作

ご家族さま
より寄稿

活かされて生きるあなたへ

木下 美智子

●岩倉のアダムス・ファミリーと呼ばれて

木下 アラン海は、平成14年（2002年）

快晴で暑かった8月27日に、京都市左京区内で産まれました。彼には11歳上の姉、3歳上の兄、2歳上の兄がいて、彼が2歳になる少し前の6月には弟が産まれて、後に地域の方々が親しみを込めて『岩倉のアダムス・ファミリー』と呼んでくださる、メンバーの一員となりました。当時の私のパートナーはメヒカーノ（メキシコ人）でしたから陽気かつ能天気。何が起きても『マニャーナ、マニャーナ』（あした、あした）私はなんで、いつも2回続けてゆうんやろ？と思っていました。



口ウソクの火を指で消して笑う1歳の誕生日

本的美しさや良さに気づけた」
この頃、アラン海が大好きだったのは『水』で、今でも

1番好きな飲み物であり、お風呂に浸かることも、スイミングプールで潜ることも、大好きです。

怖かったのは『アイスクリーム』。冷たくて甘くておいしいけれど、口のなかで消えてゆくのが、当時の彼には理解できず。水洗トイレの水が渦を巻いて、消えてゆくのも怖がっていました。

話せない、もしくは話さない（私はいずれなのか今もわかりません）彼には、独自の理解方法があるようで、すべてが理解できた時から、苦手なのかな？嫌なのかな？不快なのかな？と私が思っていたことを、鮮やかに超越しています。ほんとうに不思議でおもしろい子です。

●小・中・高のさまざまな出会い

京都市立明德小学校の育成学級（星の子学級）の入学時には、彼は前年の私の誕生日の朝から突然『紫斑病』に罹患しており、1月に併発した急性腎炎もあったので、まだ食事制限、運動制限が継続中でした。

当時も今も、新学期初日の給食献立は、1年生に学校給食を、好きになってもらう配慮から、スパゲッティミートソースとほうれん草のソテーですが、彼は絡んだソースをすべて指で取り除き、真っ白になったスパゲッティだけを、おいしそうに食べたとのこと。



中学1年の冬、メキシコ・モンテレイ市郊外の果樹園で（上）、コスメル島の波止場（下）

私が、入学前の彼に言ったことはひとつだけ。「学校では担任の先生だけが、あなたのボスですよ」。小・中・高を通して彼だけでなく私も、信頼できる善き方々が、ご担任だったことと、同学年だけでなく、たくさんのお子たちが支えてくださったことは、彼の気持ちに穏やかに円やかになる私にも心地よい6年間でした。

京都市立洛北中学校は、各学年が300名に近い大人数規模校でした。育成学級での彼は、見た目からは想像し難い、手先の器用さを発揮して『平板ねじ釘アート』『木工品製作』などを、根気よく完成させたそうです。でも、小学生だった時と同じく、参観時の絵を描く授業では、教室の床に長々と寝そべって、のろのろ描いておりました。それは、北総合支援学校高等部1年生の参観時も同じで、私は「絵を描くのは、苦手で気が進まないやなあ。陶工は、気に入るまで集中してやり直して、作品を仕上げるんですよ。しかも授業時間内に」と、知人や彼の姉、兄たち、弟にも話しておりましたので、彼の描いた絵が高1、高2、高3の毎年度、校内で選定されて、姉

妹都市交流作品展、京都市障がい者芸術作品展に出展くださるたびに、たいへん驚いておりました。

●きたアトリエでの制作の日々

3年生のある日、彼のご担任が電話をくださり、私は初めて『天才アートKYOTO』を知りました。美術を教えにご来校なさる方が、彼を作家にご推薦くださるとのこと。芸術にとことん疎い私は「それ、ほんまですか？彼は野生かつ野性のジャイアントベイビィでつせ。関係各所にご迷惑をおかけする気がいたします」と申しましたところ、後日、校長先生から、再考いただきたい旨のお電話がありました。家庭の外の社会で、彼に関わってくださる方々は、彼の資質を見極めて、その可能性を広げることや、彼の将来にもお心をお寄せくださっていることに、心から感謝しております。

それは、卒業後の生活支援型事業所の方々、外出時のご支援をいただいている、ヘルパーさんたちも同じで、彼が彼らしく生きてゆくために見守ってくださり、時には適切なご指導、ご助言をいただくことにより、彼は他者の話す言葉の理解が、年々増えているのを実感しております。

最後になりましたが彼の描く絵が、ご覧くださる誰かのためになれば、これまでたくさん与えていただいた、彼のささやかなご恩返しが成就いたします。

彼の生活の一部であるきたアトリエでの活動を、いつもお支えくださり、ほんとうにありがとうございます。

きたアトリエへようこそ！ 看護専門学校生の皆さん

京都府域の医療拠点のひとつでもある京都中部総合医療センターは、ホスピタルアートへの関心も高く、以前から附属の看護専門学校内には天才アートKYOTOの原画がレンタルで飾られています。

さらに、社会福祉学の一環として「障害者とアート」についての連続講座が設けられており…去る4月23日（木）、看護師をめざす39人の学生の皆さんが2班に分かれて、きたアトリエに現地学習にお越しくださいました。

講師を務める雨宮副理事長の案内のもと、制作支援のみならずアートストーリーやアーカイブ活用等の現場を実感…なかでも創作中の大場多知子さんのひとときでは、「モチーフと出会ったいきさつは？」「制作上の難しさ？ 達成感は！」など対話にも花が咲き、アートを介した感動を共有いただけたのだな、とも。

くしくも看護専門学校内の3月末の作品入れ替えでは大場さんの作品『椿』が、学校玄関にかけられています。未来の医療福祉現場を支えるみなさんの日々のエールになることを、願ってやみません。



レンタルの大場作品『椿』



案内役の雨宮副理事長



大場さん（手前中央）を囲んで看護専門学校の皆さん

作品レンタルや青空美術館など、入れ替えのご報告

天才アートKYOTOの事業の一つとして、作品や複製画のレンタルに加え、最近では青空美術館のパネルも提供しています。レンタル期間は半年か1年で、入れ替え時期はさまざまですが、ここでは主な導入先さま（敬称略）の入れ替えの内容を紹介させていただきます。

●株式会社SCREENホールディングス

同社への原画レンタルは、2017年からスタートし、今年で10年になります。現在には本社1階のロビーと6階・7階役員フロア、食堂階段などのほか、洛西事業所、門前仲町事業所などに多くの作品を展示していただき、適時入れ替えています。

さらに昨年末より、グループ企業の株式会社SCREENシステムサービスさまにも新しく採用していただきました。



SCREEN本社7階フロア



SCREENシステムサービスさま

●株式会社村田製作所

2023年1月に本社1階ロビーにギャラリーを開設され、大場さんが依頼を受けて制作した『洛中洛外電子図』と合わせて展示をスタート。以来、毎年作品の入れ替えを行っていただいています。



入れ替えたライトさん（写真奥）と大場さん（写真中央）の作品

●株式会社増田医科器械

2021年7月、同社の広報誌「MASUDAナウ」の発行にともない、表紙に当機構のアーカイブデータを採用していただき、本年4月には15号が発行されました。

その後、2024年12月の大阪支店の新築・移転にともない、広報誌の表紙を飾った作品の複製画を社内展示するプロジェクトがスタート。このたび2度目の入れ替えとなりました。



入れ替えた亀川愛生さんの複製画作品

●タッセルホテル白川三条

2025年3月、同ホテルにて企画展「天才アートKYOTO・生の芸術ー生きる」が開催されたのを契機に、ホテル西側道路沿いの植栽エリアに青空美術館を設置していただきました。今後は半年ごとに作品パネルを交換する予定です。

また、昨

年3月以降も継続して企画展を開催していた



入れ替えた青空美術館の作品パネル

「京都ふおんと」が 風呂敷になりました

2024年度より始動し、さまざまなシーンでご活用いただいている「京都ふおんと」ですが、このたびアンドウ株式会社さまより「京都ふおんと風呂敷」が販売されました。風呂敷に採用された作品の中には、天才アート所属の水玉みりさんの作品も含まれており、今回の企画を担当された同社企画生産部の山本さまのご厚意でコンセプトショップへご招待いただきました。

当日は水玉みりさんとスタッフで見学に伺い、風呂敷の染色方法や制作にまつわるエピソードなど、貴重なお話をたくさんお聞きすることができました。

風呂敷はANDO公式ECサイト(<https://ando-shibori.com/>)にてご購入いただけます。ぜひお買い求めください。



完成した風呂敷と水玉みりさん

「アーティストレビューvol.5」 京遊連さまの助成で完成

一人の登録アーティストにフォーカスして、独自の感性で描かれた色鮮やかな作品を紹介する冊子で、サイズはA2判クロス折、両面カラー刷りです。vol.5のアーティストは「木下アラン海」さんで、2026年3月に完成しました。

制作には、2021年度より（公財）京遊連社会福祉基金の助成をいただいています。今後も年1回のペースで発行していきます。ご入用の方はお問い合わせください。

〈編集後記〉

2025年度 of 天才アート展は1月～2月に開催しました。寒い時期のため、来場人数を心配しましたが、たまたま大型寒波の時期に重なったこともあって、やはり思うほどお客さま数は伸びませんでした。しかし、例年通り熱心に鑑賞していただけるお客さまもたくさんご来場いただき、感謝申し上げます。

今年度も天才アート展をはじめ、作品を発表できる機会を多く設け、たくさんの方の市民や観光客の皆さまに天才アートKYOTOを知っていただく努力をしていきたいと思っています。登録アーティストの皆さまも、ますます素晴らしい作品を生み出してください。



HAGURUMA



【表紙の作品について】

ライトは主に水彩とコラージュ技法を用いた作品を多く制作しています。鑑賞者はライト作品に共通するその淡い色や余白から優しい暖かなイメージと同時に、どこかほかなさを感じるのかもかもしれません。時折登場するウサギのモチーフについて、ライトは「母が見守っている」と語ります。本作「朝日」には船のモチーフが使われていますが、ライトの作品はどこか懐かしい情景や「母のあたたかさ」を含んでおり、鑑賞者に遠い日の記憶がよみがえるような感覚を与えるようです。



ライト Light 『朝日』
キャンバス・アクリル絵の具・色鉛筆・画用紙、
2025年制作

一級建築士事務所
町家・古民家再生 / マンション改修

**(株)共立ホーム
エンジニアリング**

06 (6788) 5402 kap@hyper.ocn.ne.jp

お客様に寄り添い、安心と安全をお届けします

総合リスクコンサルタント



株式会社プラニ

☎ 075-353-2522

妙心寺 塔頭

養徳院

永代供養のお寺 075-461-2898

京都上鳥羽
の
印刷会社

MORI TA
(有)森田美術印刷

京都市南区上鳥羽火打形町12 ☎ 075-692-3131

いのちを見つめ、人間を支える。



洛和会
ヘルスケアシステム®



吉村建設工業(株)

京都市中京区西ノ京小倉町135番地
075-802-1360

SCREEN

一般財団法人

NISSHA 財団